

カンショにおけるタバココナジラミの発生と被害

[要約] タバココナジラミは県内各地のカンショで発生しており、一部で多発生圃場も認められる。カンショにタバココナジラミが多発生すると、吸汁により葉が枯死し収量の低下を招く。

農業総合センター農業研究所

成果区分

技術情報

1. 背景・ねらい

タバココナジラミは、吸汁によって作物の生育を阻害し、排泄物によるすす病（症状）を発生させる害虫である。また、トマト黄化葉巻病を媒介することで問題となり、近年では薬剤抵抗性の発達しているバイオタイプQの発生も確認されている。カンショ栽培圃場でタバココナジラミの多発生を確認したので、発生状況および被害状況を明らかにする。

2. 成果の内容・特徴

- 1) 銚田市のカンショ栽培圃場（品種：ベニアズマ、植付け：6月19日）において、コナジラミ類の多発生を認めたので、発生状況および被害の状況を収穫期に調査した。
- 2) 発生圃場の成虫および4齢幼虫の形態から同定したところ、発生種は全てタバココナジラミであった（図1）。
- 3) 圃場内の多発生部と少発生部のつる数、つる長に差は認められないが、多発生部のつるや葉にはタバココナジラミの排泄物によるすす病が多く発生しており、葉の枯死も多かったことから、つる重は多発生部で低い（表1、図1）。
- 4) 上いも数、上いも重、上いも1個重は、少発生部に比べて多発生部で低い。サイズ別では、多発生部において50g未満のいも数が多く、M品以上のいも数は少ない。でん粉歩留も多発生部でやや低い（表2）。
- 5) 多発生圃場に近い地域のカンショについて、タバココナジラミの発生状況を調査したところ、全ての調査地点で発生している。多発生圃場の周辺では、寄生程度が高く、被害（排泄物によるすす病の発生）の多い地点も認められる（表3）。

3. 成果の活用面・留意点

- 1) 平成20年10月下旬の調査結果である。
- 2) 育苗中にも発生する恐れがあるので注意する。
- 3) カンショのコナジラミ類に対して、シペルメトリン水和剤およびピリダベン水和剤の登録がある（平成21年1月現在）。

4. 具体的データ



図1 タバコナジラミと被害の状況
左：成虫と4齢幼虫、中：多発生部分のつる、右：少発生部分のつる

表1 タバコナジラミの寄生状況と収穫時の地上部生育

調査部分	虫数（1リーフディスクあたり）			地上部の生育状況（株あたり）		
	卵数	幼虫数	合計	つる数	つる長	つる重
多発生部	82.4	238.1	320.5 頭	11.2 本	1,376 cm	565 g
少発生部	3.8	12.1	15.9	10.1	1,386	990

注) リーフディスク：直径3cmの円形にくり抜いたカンショ葉
つるは、4cm以上の全てのつるについて計測した。つる長は、合計値。

表2 タバコナジラミ発生圃場の収量および品質（5株あたり）

調査部分	上いも数	上いも重	上いも 1個重	サイズ別いも数							でん粉 歩留
				<2S	2S	S	M	L	2L	3L	
多発生部	18.3 個	2,981 g	162 g	20.0	5.7	7.0	5.3	0.3	0	0	21.7 %
少発生部	22.3	4,705	211	12.7	5.7	8.0	6.3	0.3	1.7	0.3	23.0

注) 上いもは50g（2S）以上のいも

表3 県内のカンショにおけるタバコナジラミの発生状況

調査地点	発生量	被害 (すすの発生)	調査地点	発生量	被害 (すすの発生)	
銚田市	多	多	小美玉市	少	無	
	多	多		やや多	無	
	多	やや多		少	無	
	多	多		少	無	
	少	無		行方市	少	無
	少	無		水戸市	少	無
	少	無			少	無
やや多	無					

注) 発生量の多：1葉あたり10頭以上の幼虫が認められる、やや多：1葉あたり数頭の幼虫が認められる、少：1葉あたり1頭以下の幼虫が認められる
水戸市は、農業研究所圃場

5. 試験課題名・試験期間・担当研究室

農作物有害動植物発生予察事業・平成20年度・病虫研究室